

# あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画

## 第3回策定委員会 議事要旨

■日時：令和3年3月3日（水） 13時00分～15時30分

■場所：あま市七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール

■出席者：

### 【委員】

| 区分   | 職名               | 氏名     | 出欠           |
|------|------------------|--------|--------------|
| 委員長  | 大同大学大学院工学研究科 教授  | 嶋田 喜昭  | ○            |
| 委員   | 七宝町土地改良区 代表      | 室田 卓史  | ○            |
| 〃    | 美和町土地改良区 代表      | 樋口 眞一  | ○            |
| 〃    | あま市農業委員会 代表      | 三輪 光雄  | ○            |
| 副委員長 | あま市商工会 代表        | 山田 精二  | ○            |
| 委員   | あま市観光協会 代表       | 清水 明俊  | ○            |
| 〃    | 住民代表 女性の会 代表     | 村上 千代子 | ○            |
| 〃    | 住民代表 民生委員 代表     | 井村 なを子 | ○            |
| 〃    | 住民代表 まちづくり委員会 代表 | 小林 優太  | ○            |
| 〃    | 住民代表 まちづくり委員会 代表 | 北野 まり子 | ○            |
| 〃    | 住民代表 防災ネット 代表    | 河竹 正幸  | ○            |
| 〃    | 愛知県都市整備局 都市計画課長  | 齊藤 保則  | ○<br>(代理：朝田) |
| 〃    | 愛知県都市整備局 公園緑地課長  | 小嶋 幸則  | ○<br>(代理：竹内) |
| 〃    | 愛知県海部建設事務所 企画調整監 | 今泉 明久  | ○            |

【事務局】：9名（(株)オオバ3名）

【その他】：6名（企画政策課4名）

### ■次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
  - (1) 第2回策定委員会での指摘事項について
  - (2) あま市都市計画マスタープランについて
  - (3) あま市緑の基本計画について
  - (4) 今後のスケジュールについて
- 4 その他
- 5 閉会

## 議 事

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 議題

#### (1) 第2回策定委員会での指摘事項について（資料1、参考①・②）

##### 【質疑・応答】

- ・意見なし

#### (2) あま市都市計画マスタープランについて（資料2、参考③）

##### 【質疑・応答】

|   | 内 容   | 回 答  |
|---|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2（9頁）にある住宅用地フレームの数値は、将来的に不足する用地を示しているものか。また、この数値と将来都市構造図に示される市街化検討ゾーンは整合が図られているという理解でよいか。【小林委員】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯当たり人員等が今後変化することが予測されることから、現状の市街化区域内の低未利用地を活用しても、住宅用地が不足する試算となっている。</li> <li>・市街化検討ゾーンの中から条件に応じて検討することを想定しているため、ゾーンの面積と試算した数値は現時点で一致していない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【事務局】</p> |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口フレームの算出方法は、愛知県方式を準用していることは分かるが、あま市の地域特性を踏まえた方法で算出していただければよい。</li> <li>・現在の市街化区域人口が70,000人であるのに対し、試算では60,000人となっている。既存の市街化区域の住みやすさを維持・向上していく方針であれば、現況の70,000人は維持か増加が妥当だと考えるため、その上で新規のフレームを設定していくことが大切だと思う。</li> <li>・フレームと市街化検討ゾーンの規模はある程度整合を図る必要がある。</li> <li>・目標年次は令和14年としているが、長期的な視点で都市構造を描くならば、20年後の令和24年を見据えたフレーム検討をしても良いのではないか。【朝田委員】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえて、フレーム試算の精査をしながら、将来都市構造図の表現を検討する。【事務局】</li> </ul>   |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在示されている市街化検討ゾーンは、どのくらいの規模を想定しているか。【嶋田委員長】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・200ha程度を想定している。【事務局】</li> </ul>  |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2（22頁）の公共交通に関する方針の中にICTやマイクロモビリティの記載があるが、あま市の現状と結び付かない。何か具体的に検討していることはあるか。【小林委員】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市にSRT構想があるため、それを本市に呼び込みたいと考えている。市北部には鉄道があるが、南部には基幹交通が無いため、このSRTが南部の基幹交通になればと考えている。【事務局】</li> </ul>  |

| 内 容 |  | 回 答  |
|-----|--|--|
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>資料2（23頁）に「まちなかの緑とオープンスペース」という文言があるが、「まちなか」という表現は駅周辺が連想され、例として記載されている森ヶ丘公園や二ツ寺親水公園のある場所と結び付かないため、項目を分けてはどうか。</li> <li>また、31頁に「緑化を支援する制度の導入」とあるが、既に県の「森と緑づくり税」を活用した制度があると思うため、制度の活用という表現にしてはどうか。【竹内委員】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>表現を再考する。【事務局】</li> </ul>  |
| 6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>将来都市構造図に記載されている各拠点の規模はどのくらいを想定しているか。【嶋田委員長】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね半径1km弱を想定している。【事務局】</li> </ul>  |
| 7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>甚目寺駅周辺の拠点について、北に偏心しているが、駅南側も重要な拠点であるため、表現を再考してはどうか。地域別構想も含めて表現を検討していただきたい。【朝田委員】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度の地域別構想検討も含め、表現方法を検討する。【事務局】</li> </ul>   |
| 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の体力づくりを図るため、公園内で簡単な運動ができる器具などを設置してほしい。【井村委員】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>沖之島地区に新設された公園内に健康遊具を設置した。今後も社会情勢や市民ニーズを踏まえながら、設置を検討していきたい。計画への反映としては、緑の基本計画の中で記載する。【事務局】</li> </ul>                     |
| 9   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災以降、あま市に移住してきた方に体験談を伺うと東北は避難体制が構築されていると感じた。一方、あま市では住民の防災意識が低く、本当に避難行動がとれるのが不安に感じていることから、防災に関する記述をもう少し盛り込んでいただきたい。【北野委員】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、無料で耐震診断を実施しているが、東日本大震災から月日が経過したためか利用が低下しているように感じる。</li> <li>防災に関する記述は重要であるため、周知の必要性等を含めて記載を見直していきたい。【事務局】</li> </ul> |
| 10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>連携協働の活動を行うためには、活動の場として利用できる拠点形成が大切だと思うため、拠点整備等の記述を追加してはどうか。【小林委員】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>記載内容も含めて検討する。【事務局】</li> </ul>   |

### （3）あま市緑の基本計画について

#### 【質疑・応答】

| 内 容 |   | 回 答  |
|-----|---|--|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園などの整備の方針の中で、拠点となる公園・緑地の整備という文言があるが、「整備」という表現だと新たに公園をつくることを連想させるため、再整備であればそのような表現に見直してはどうか。</li> <li>緑の保全・創出・活用の方針と施策の展開の流れがもう少し分かりやすくなると良い。【竹内委員】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の施策検討を踏まえ、表現を見直す。【事務局】</li> </ul> |

| 内 容 |   | 回 答  |
|-----|---|--|
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッグランがボランティア管理ということを知り、とても良い考えだと思った。民間活力を導入した管理などの取り組みを実践していきたいと思っても、どうしていいかわからない方もいると思うため、制度の周知・活用方法なども記載していただけるとよいと思う。【小林委員】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を導入する制度の周知や活用方法などについても記載していく。【事務局】</li> </ul>                                  |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政主導で民間活力を導入したモデルケースをつくれると良いと思う。【嶋田委員長】</li> </ul>  |  |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッグランで芝生を採用しているのは、珍しく目玉になると思う。世界に比べ日本はドッグランが少ない現状にあるため、ぜひ頑張っていたきたい。【嶋田委員長】</li> </ul>   |  |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮華寺寺叢は、歴史的にも重要な拠点だと思うが、将来像図では、歴史・文化拠点ではなく、緑の拠点となっている。どのように使い分けをしているのか。【小林委員】</li> <li>・緑の拠点と歴史・文化拠点の丸を二重で表現しても良いのではないか【嶋田委員長】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮華寺寺叢は、県の自然環境保全地域であることから、将来像図の中では、貴重な樹林地であることを優先して、緑の拠点として位置付けている。【事務局】</li> </ul> |

#### (4) 今後のスケジュールについて

##### 【質疑・応答】

- ・意見なし

#### 4 その他

#### 5 閉会